

「地域計画」策定に向けた農業経営及び農地に関する調査
集計結果報告

大玉村農業委員会

□『地域計画』策定に向けた農業経営及び農地に関する調査

■調査の目的：

本調査の目的は、村内に農地（田）を所有する者に対し、今後の農業経営や農地利用に関する意向及び農業の現状等を調査、把握し、地域の目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する計画である「地域計画」策定の中において、農業委員会の重大な役割である目標地図の素案を作成するためのものである。

■調査対象：村内に農地（田）を所有する者

■調査対象件数：1,145件

■配布方法：郵送

■回収方法：（１）返信用封筒にて郵送
（２）直接持参
（３）地区農業委員・農地利用最適化推進委員による訪問

■調査期間：令和5年10月23日（月）から令和5年11月27日（月）

■回収率：71.9%（823件／1,145件）

■調査結果の概要：

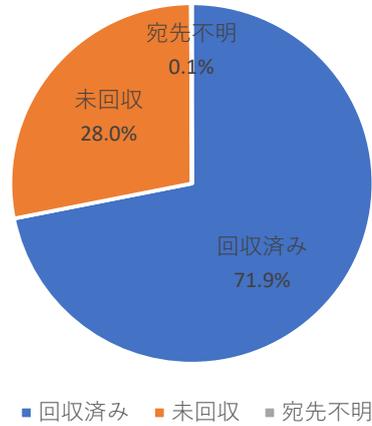
農業経営者の平均年齢は68.8歳と、本村の基幹産業である農業において、高齢化が進んでいることがうかがえる。また、6割以上の農業経営者が「後継者はいない」と回答しており、後継者不足は深刻な問題となっている。この現状から58%の農業経営者が経営の規模を「縮小したい」と回答しており、面積にして約186haの農地（田）を「貸したい」または「売りたい」と考えているが、それに対して、農業経営の規模を「拡大したい」と回答した農業経営者が「借りたい」または「買いたい」、「作業受託したい」と希望した農地（田）面積の合計は約96haにとどまり、約2倍の開きがあることがわかる。

これらのことから、農地の集積、集約をより計画的に進め、残された担い手が経営しやすい環境を整えるため、地域一丸となって地域計画の策定に取り組まなくてはならない。

■《参考》大玉村の農地面積：田 1,274.4ha、畑 382.4ha（令和6年2月1日時点）

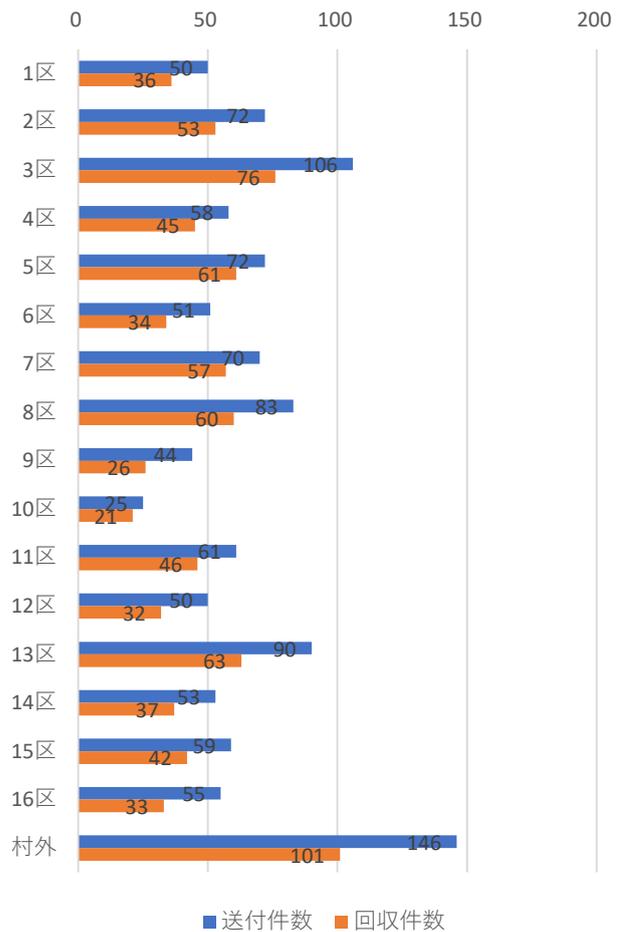
■調査票の回収状況

	件数	割合
回収済み	823	71.9%
未回収	321	28.0%
宛先不明	1	0.1%
合計	1,145	100.0%



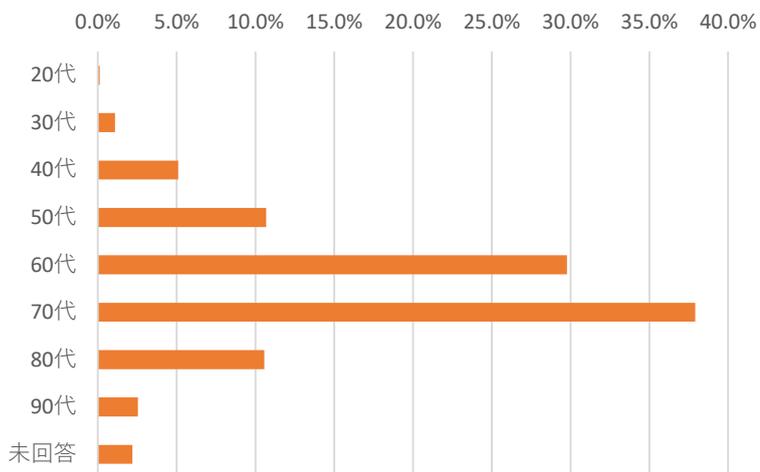
■行政区毎の回収状況

	送付件数	回収件数	回収率
1区	50	36	72.0%
2区	72	53	73.6%
3区	106	76	71.7%
4区	58	45	77.6%
5区	72	61	84.7%
6区	51	34	66.7%
7区	70	57	81.4%
8区	83	60	72.3%
9区	44	26	59.1%
10区	25	21	84.0%
11区	61	46	75.4%
12区	50	32	64.0%
13区	90	63	70.0%
14区	53	37	69.8%
15区	59	42	71.2%
16区	55	33	60.0%
村外	146	101	69.2%
合計	1,145	823	71.9%



■経営主（回答者）の年齢

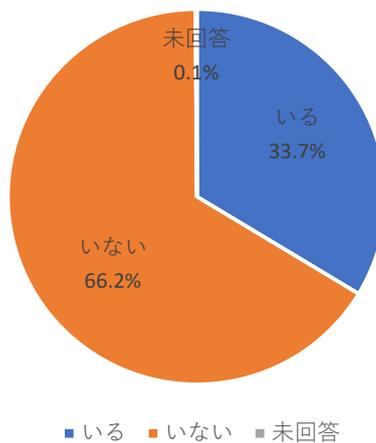
	件数	割合
20代	1	0.1%
30代	9	1.1%
40代	42	5.1%
50代	88	10.7%
60代	245	29.8%
70代	312	37.9%
80代	87	10.6%
90代	21	2.6%
未回答	18	2.2%
合計	823	100.0%



平均：68.8歳

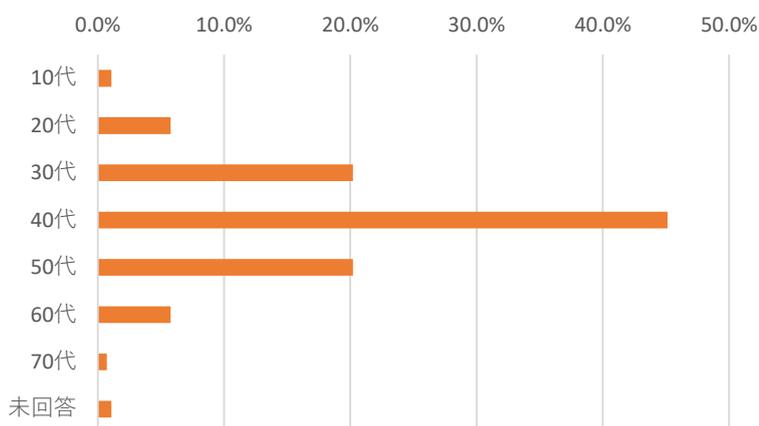
■農業後継者の有無

	件数	割合
いる	277	33.7%
いない	545	66.2%
未回答	1	0.1%
合計	823	100.0%



■農業後継者の年齢

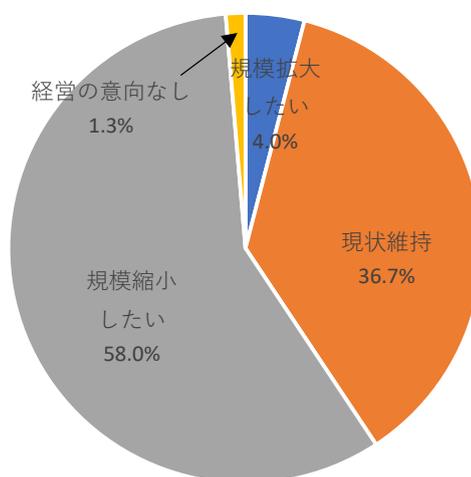
	件数	割合
10代	3	1.1%
20代	16	5.8%
30代	56	20.2%
40代	125	45.1%
50代	56	20.2%
60代	16	5.8%
70代	2	0.7%
未回答	3	1.1%
合計	277	100.0%



平均：44.3歳

■今後の農業経営の意向

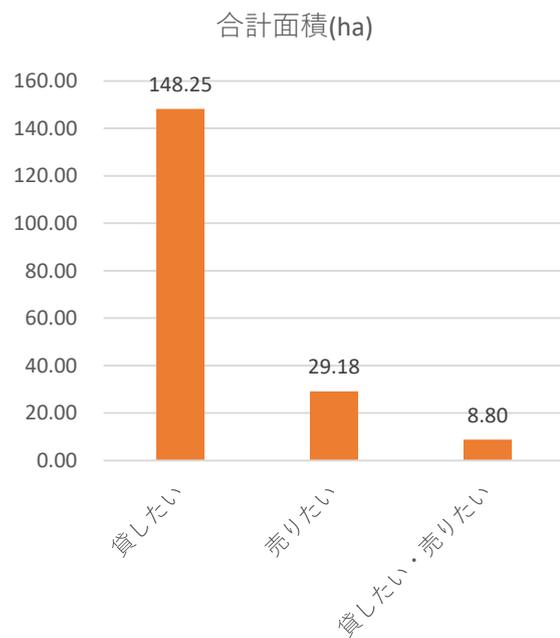
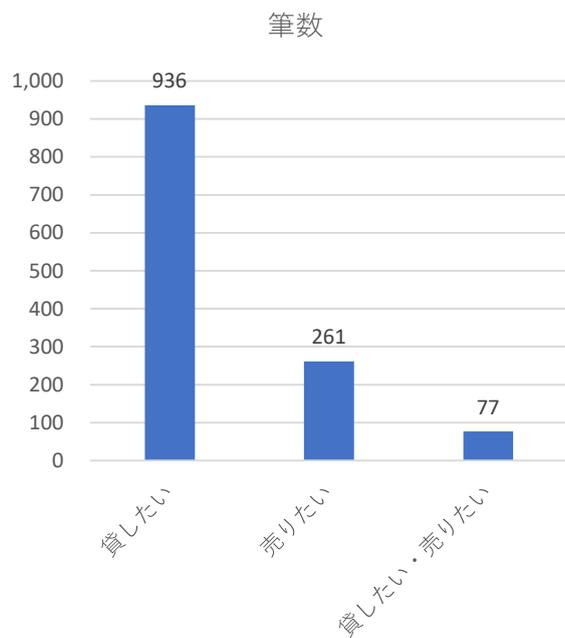
	件数	割合
規模拡大したい	33	4.0%
現状維持	302	36.7%
規模縮小したい	477	58.0%
経営の意向なし	11	1.3%
合計	823	100.0%



■ 規模拡大したい ■ 現状維持
■ 規模縮小したい ■ 経営の意向なし

■貸付等の意向（田）

	筆数	合計面積(ha)
貸したい	936	148.25
売りたい	261	29.18
貸したい・売りたい	77	8.80
合計	1,274	186.23



■借入等の意向（複数回答あり）

◇借りたい

	件数	合計面積(ha)	1件あたり平均面積(ha)	作付予定作物
田	20	74.60	3.73	米、花き等
畑	3	1.20	0.40	野菜等
樹園地・牧草地	2	11.00	5.50	牧草等
合計	25	86.80	3.47	

◇買いたい

	件数	合計面積(ha)	1件あたり平均面積(ha)	作付予定作物
田	3	2.31	0.77	米等
畑	1	0.08	0.08	野菜等
樹園地・牧草地	1	10.00	10.00	牧草等
合計	5	12.39	2.48	

◇作業受託したい

	件数	合計面積(ha)	1件あたり平均面積(ha)	作付予定作物
田	4	20.00	5.00	米、ソバ等
畑	1	2.00	2.00	ソバ等
樹園地・牧草地	0	0.00	0.00	
合計	5	22.00	4.40	

◇合計

	件数	合計面積(ha)	1件あたり平均面積(ha)
田	27	96.91	3.59
畑	5	3.28	0.66
樹園地・牧草地	3	21.00	7.00
合計	35	121.19	3.46

■現在の農業経営でお困りのことなど（自由記載）

◇米価の低迷とその他物価の高騰

- (01)肥料、除草剤、燃料が高い。
- (02)米価が安いので、高く買い取ってほしい。
- (03)農業機械の更新は厳しい状況である。
- (04)米価が下がる一方で、肥料等は値段が上がり、小さい農家は生かさず、殺さずの状態であるから、やめるしかない。続けるにしても機械を買うお金がない。
- (05)肥料、農薬の価格が高い。
- (06)資材等が高い割に米、野菜が安い。
- (07)農機具の購入費用が規模拡大の障害になっている。農機具のサブスクがあってもいいのでは。
- (08)農機が高く、更新に悩むことが多い。
- (09)肥料が高くなり大変。
- (10)大型機械が壊れたら買う気はない。
- (11)米価が下がる一方で、肥料等は上がっている。農業を行う意味はあるのか。日本で米が売れないのなら海外へ出荷することはできないのか。
- (12)材料の高騰。農業機械の経年劣化。大規模な補助金が必要。
- (13)機械の老朽化に困っている。
- (14)米が安く機械の更新ができない。
- (15)農機械のレンタル制度の確立をお願いしたい。
- (16)農機が高いため、中古で購入できる販売店を紹介してもらいたい。
- (17)米価の低迷に困っている。補助事業等の継続性に不安がある。
- (18)肥料や燃料、資材などの高騰で採算性維持が難しく、農業の継続を悩んでいる。
- (19)農業機械の価格が高く更新が困難である。

◇貸したい、売りたい、処分したい

- (20)福島に帰る予定はないので処分したい。
- (21)どんなに低価格でもよいので処分したい。
- (22)管理が大変なので、農地を貸したい。
- (23)後継者がいないため、借り手が見つかれば、農地を提供したい。
- (24)将来的には農地を売却したい。
- (25)相続を受けたが、遠方のため管理が大変。誰かに活用してもらいたい。

◇高齢化、体調面の問題

- (26) 高齢で後継者もない。
- (27) 農地を貸しているが、相手も高齢なので先々が不安。
- (28) 現在の借受人が高齢で、5年後についてどうなっているかは不明。
- (29) 農家の減少、高齢化により農地が荒れているのに頼める人がいない。
- (30) 自分も高齢であと何年農業ができるか不安。
- (31) 集落の人も高齢で頼めない。
- (32) 父が農作業できなくなった場合のことを考え中。
- (33) 病気後、通常の生活が困難で農業どころの話ではない。
- (34) 今後の農地管理が体力的に不安。
- (35) 高齢で自分ではもうできない。
- (36) 体調が悪い為、長時間の農作業が出来ない。
- (37) 高齢になり管理できないので不安がある。

◇水、水路の問題

- (38) 水路の引き水用の管が古く、今後大きな工事が必要になる。
- (39) 土地改良区の脱退金が高額なため水田を売るにも難しい。
- (40) 水管理、水路の管理及び道路の草刈りが大変。
- (41) 水路の水漏れ、水路つまりによる越水があり、個人での対応に苦慮している。
- (42) 用水を上の人が下に流さない。
- (43) 水不足が心配。
- (44) 借りている水田の水路が土側溝のため水の便が悪い。U字溝の布設をしてもらえないか。
- (45) 地区の水の便が悪すぎる。日陰で困っている水田がある。
- (46) 水の便が悪い。
- (47) 湯水対策を強く要望したい。水不足時は水利費を減じてほしい。
- (48) 用水路の老朽化がひどく、田に越水する。
- (49) 田植えの時期に水が来ないため苦勞する。
- (50) 用水路のパイプライン化による計画的水利用が最大の課題になるのではないか。
- (51) 水の便が悪く、排水路から水をかけている。
- (52) 用排水路の手入れのため、多面的で1人作業を認めてほしい。

◇遊休農地、耕作放棄地について

- (53)現在、農地は耕作放棄地となっている。
- (54)荒地になるのが心配。良い方法が見つからない。
- (55)水利の不便さやイノシシの被害等により、耕作放棄地となっている地区がある。解決策の一案として、村農業振興公社やそば部会に一括借り上げてもらい、ソバを栽培して、ソバの里として維持管理しては如何か。
- (56)地区内に村外の方が購入した田んぼがあり、除草もされずにいる。行政、法律等で解決する術はないか。

◇害獣問題

- (57)イノシシ対策の強化をお願いしたい。
- (58)イノシシ被害が拡大している。
- (59)イノシシ被害に困っている。作っても荒らされる。

◇後継者問題

- (60)農作業を手伝ってくれる娘はいるが、後継者となる者はいない。老後の農業経営が心配。
- (61)子どもはいるが農業はやらないと思う。将来的に農地の利用方法をどうしたらよいか。
- (62)後継者がいないので、貸し借りの手続き等を勉強したい。
- (63)若い人の育成をしてほしい。
- (64)子は米作りする意志がない。
- (65)後継者がいないので、農地を転用したい。
- (66)地域の後継者が不足しつつある。

◇圃場条件、圃場整備について

- (67)圃場が小さいため、貸付は困難だと思われる。
- (68)農業機械が入らず耕作できない圃場がある。
- (69)大型機械による耕作が進むと考えられるので、圃場整備の取り組みを考えるべき。

◇草刈りに関して

- (70)草刈り等、農地の管理が大変。
- (71)田んぼ脇の農道、村道の草刈りを村ではやってくれないのか。または、作業料を支払うことはできないか。会社勤めでは大変である。
- (72)中山間部は土手の草刈りが大変。
- (73)村道法面の草刈りが負担となっている。
- (74)県道、農道の草刈りが大変である。
- (75)道路、水路などの官地の草刈りが大変である。

◇農業施策、農家支援について

- (76)村内の農政全般に係る施策が必要と感じる。
- (77)安定した農業施策を希望する。
- (78)これまでの施策の見直しと農業者及び農業者団体とともに調査研究し、新たな施策を考えてほしい。
- (79)小規模農家の支援を増やしてほしい。

◇その他

- (80)兄弟が所在不明のため相続手続きができていない。
- (81)農地の有効利用の仕方がわからない。
- (82)現在の農業では息子に農業経営を続けてほしいとは言えない。
- (83)畑も持て余している。畑に対する調査もお願いしたい。
- (84)長年作業委託してきた農地が相手方より利用終了の申し出があり、自分での作付も検討しなければならない。
- (85)兼業のため土日がなくなる。
- (86)管理することも困難で、どうしたらよいかわからない。
- (87)農作業する時間がない。
- (88)農地が分散しているため、農業者間で調整し集約できないか。
- (89)人手が足りない。
- (90)田んぼに空き缶の投げ捨てが多い。看板の設置を望む。
- (91)農家が転入者に遠慮しながら農業をしている実態を考えてほしい。

◇継続、規模拡大したい

- (92)5年間くらいは農業経営を続けられると思っている。
- (93)2、3年前から規模拡大の意思表示をしているが、村、農業委員会、農業振興公社から具体的方針や方向性をもらえなかった。今後の農業委員会、農業振興公社の活動に期待する。
- (94)両親の高齢化に伴う労働力減少のため規模拡大は難しい。ただし、現状設備の有効利用として、作業受託は可能。耕作面積を増やすには、労働力の確保もしくは経営団体を確立する必要がある。
- (95)今後も後継者の意向に配慮しつつ、農業を継続したい。
- (96)兼業農家として農業に従事していきたい。
- (97)地元の地域環境を守るため、知恵を出し合い助け合いながら、個人経営で拡大していきたい。